

2009 年 10 月 5 日

報道関係者各位

No.-58101

株式会社東陽テクニカ

世界中の携帯端末の認証試験と性能試験に対応 LTE テスタ製品ラインアップを強化

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：渡辺洋介、以下東陽テクニカ）はこのたび、3G 携帯電話方式の最新版である LTE 方式携帯端末に対応した試験システム製品を強化いたします。

これまで、携帯端末の認証試験（コンFORMANCE）と性能試験（パフォーマンス）のためには、新通信方式が開発される毎に大型で高価な試験装置が導入されてきました。LTE は世界の二大陣営である 3GPP と 3GPP2 の両方が導入を予定しているため、両陣営の従来方式と LTE 方式間のハンドオーバー（接続基地局の切り替え）を試験するためには、複数方式との「たすき掛け」により多くの試験が必要となります。

しかしながら、従来の試験装置は 3GPP 又は 3GPP2 の一方にしか対応しておらず、又認証試験と性能試験の両方に対して柔軟に対応することが困難でした。しかも、多くの国内携帯端末メーカーは両陣営に対して商品を供給しており、新方式 LTE の導入に際して 3GPP 及び 3GPP2 の両陣営の試験が可能で、かつ、認証試験と性能試験の両方に拡張できる試験ソリューションが求められています。

このたび、東陽テクニカの取引先である AT4 Wireless 社（本社：スペイン国マラガ）と Spirent 社（本社：米国カリフォルニア州）が技術提携を行い、前記の問題を解決した携帯端末の開発、性能・認証試験のための試験ソリューションを発表しました。日本においては東陽テクニカが 10 月より販売を開始します。

両社の提携の概要は次の通りです。

- AT4 Wireless 社は Spirent 社より 3GPP2 方式網エミュレータの供給を受けて、3GPP2 方式にも対応可能な LTE 認証用テスタを提供
- Spirent 社は AT4 Wireless 社より LTE テスタの供給を受けて、LTE 方式にも対応可能な 3GPP、3GPP2 兼用 8100 型性能試験システムを提供

両社の提携により東陽テクニカは 3GPP/3GPP2 の両陣営の従来方式と LTE 方式に対応した端末の認証試験と性能試験の両試験需要に応えることが可能となりました。

両システムはそれぞれ端末開発段階での様々な機能、性能を検証するためのユーザー一定義の試験を実行できる機能があります。このため、チップセット、端末機器の開発の初期段階から認証試験や網事業者の固有応諾検査まで、広い範囲の試験需要に対してシステムを拡張することが可能となり、最適な機器構成にてご利用頂けます。さらに、LTE にくく 3G 携帯電話規格である HSPA+や LTE Advanced への拡張も予定しており、長期間に渡って過剰な設備投資を抑制することができます。

東陽テクニカでは、国際市場にて幅広く採用されている両社製品のご提供を通じて、日本携帯端末業界の国際競争力強化を積極的に支援してまいります。

発売開始時期 : 2009年10月

価 格 : 機器構成により 3,500万円~4億円

初年度販売目標 : 10セット、10億円

予 定 販 売 先 : 携帯網事業者、各研究機関、商用試験ラボ、携帯端末メーカー

=====

用語説明:

LTE:

Long Term Evolution の略。3GPP が制定する 3G 携帯電話の新方式(Release 8)で、高速接続、高速パケット通信、適応形通信レートの特徴としており、国内では 3.9G とも称される。国内では NTT docomo が、米国では Verizon Wireless が 2010 年の商用サービスを目指して積極的に推進している。

3GPP:

3rd Generation Partner Project の略。欧州 GSM 方式発展系の通信方式を仕様化する国際団体で、従来方式としては GSM 以降に GPRS, EDGE, W-CDMA, HSDPA 等があり、LTE 方式の仕様化も担っている。国内では NTT docomo, Soft Bank Mobile, E-Mobile が同陣営。

<http://www.3gpp.org/>

3GPP2:

3GPP に対抗するために設立された米国 Qualcomm 社 cdmaOne 方式発展系の通信方式を仕様化する国際団体で、従来方式として、cdmaOne 以降に CDMA2000, EVDO などがある。国内では au by KDDI が同陣営。

<http://www.3gpp2.org/>

認証試験:

コンFORMANCE試験とも呼ばれ、3GPP/3GPP2 が制定した試験仕様に基づいた認証試験制度で、携帯端末を試験ラボに持ち込んで受験し、認証証明書を得る。無線試験と相互接続性を含むプロトコル(接続手順)の試験が主で、海外の携帯網事業者は本認証を求めることが多い。他に、各国で定める安全規格(UL、CE 等)や電波法に対応した認証試験制度があり、その法的な根拠から強制規格とも呼ばれる。

性能試験:

パフォーマンス試験とも呼ばれ、各携帯電話網事業者や携帯端末メーカーが独自に行う性能試験で、地上網を含めた網環境におけるデータ通信スループット試験等の、認証試験にて定義されていない複雑で高度な通信性能を試験する。日米の携帯網事業者は、端末応諾条件として本試験を求めることが多い。

AT4 Wireless 社:

AT4 Wireless 社は最新テスト機器の製造販売と、試験ラボサービスの両方の無線技術試験ソリューションを提供するグローバル企業。AT4 Wireless は各種方式の広範囲な試験システムを支援するために最新技術を開発しており、例えば、R&D、設計・検証、コンFORMANCE、事業者認証のための LTE, 2G/3G/HSPA, WiMAX, Bluetooth 及び RFID/NFC 方式を含む。

AT4 Wireless の商用試験ラボは世界規模のコンFORMANCE、強制規格、相互接続性、フィールド試験、世界的なコンプライアンスと型式認定に関するコンサルティングや通信端末認証のためのワンストップ・サービスを提供している。

1991 年創業で、世界で 350 人以上の従業員を有する。スペイン国マラガを本拠地し、支社が米国にあり、本年 9 月に台湾にも開設した。

www.at4wireless.com

Spirent 社:

Spirent Communications (www.spirent.com)は次世代ネットワーク技術、例えばインタネット技術、ブロードバンドサービス、3G 携帯、グローバル・ナビゲーション衛星システム及びネットワーク・セキュリティ機器の開発と普及のための統合化されたパフォーマンス解析とサービス保証システムを世界的に提供する企業。

同社のソリューションは世界の大手機器メーカー、網事業者、企業、公的法人を含む 1,700 社以上の顧客に提供されている。カリフォルニア州サニーベールを本拠地とし、世界で 1,300 人の従業員を有する。

http://www.spirent.com/planet-spirent/media_room/about_spirent_communications_plc.aspx



AT4 Wireless 社製
LTE 認証試験テスト



Spirent 社製
8100 型 性能試験システム

本リリースの内容に関するお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社東陽テクニカ マルチメディア計測部 藤田 勝也

Tel:03-3245-1108 Fax:03-3246-0645 e-mail:fujitak@toyo.co.jp

☆携帯端末試験ソリューション URL: <http://www.toyo.co.jp/mobile/>

また、当社に関するご質問は下記までお願いします。

株式会社 東陽テクニカ 経営企画室

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail:kikaku@toyo.co.jp